



ゲームやテレビでは集中できるのに  
**勉強となるとなぜ?!**  
 という声をよく聞きます。

# 高速リスニング実り

(速聴機使用読書教室)

今の大切な時期にゲームやテレビで大半の時間を費やしてはもったいないと思いませんか。

読書は知識の宝庫です。

読書が大切だとわかっていても、読書をしなさいといわれて自らするわけがありません。楽しいことやスリルのあることが周りにはいっぱいあるのです。

一度私たちに任せてみてください。

読書にもやり方があるのです。そのあるやり方の段階を踏むことによって、知識・思考力、そして驚くべきことに知能指数までもがグーンとアップすることが証明されています。

これからの高校・大学入試では、面接や論文(作文)が重要視されてきます。そのときにこそ「語学力」や表現力が問われます。よい文章に触れていると、知らず知らずのうちに小論文や作文の表現力がついてきます。本を読むことで得られるものは計り知れません。

直接的には、集中力、知識、語い力、読解力、想像力、創造力が身につきます。

学力の高い子はほとんどが本好きです。読書力のない子は、塾通いしても学力面での根本的な伸びは期待できません。学年が進むにつれてそれが顕著に現れます。

「高速リスニング実り」では、小学生から大人の方まで、8倍速まで可能な速聴読システムによって無理なく読書を楽しめます。

「子どもの読書活動の推進に関する法律」が平成13年12月5日に国会で成立し、4月23日を「子ども読書の日」とすることが決まりました。ぜひこの機会に読書のおもしろさを体験してください。



2002年(平成14年)3月22日(金曜日)

正しく式を書けた小学五年生は44.8%。同じ算数の問題を十二年前は、89.0%だった。この間、学習指導要領で定めた授業時間は変わっておらず、この問題は、三年生で学習する内容だ。東大大学院教育学研究科の学校臨床総合教育研究センターの調査は同一校を対象に、学力のほか学習態度や家庭環境も合わせて調べた点で、貴重なデータといえる。小学五年と中学二年の調査だが、小中学生全体の学力低下が推測されることも、二極化の兆候が多面的にうかがわれる。

家庭環境の違いが、その大きな要因として浮かんできている。まず、塾に通う子と通わない子の学力差が拡大した。例えば、中学二年の数学は13校差から20校差になった。

学力や学習意欲の差も家庭環境によって差がでた。「二ユー」をよく見る「小さい」として、本をよく読む「小さい」として、物館や美術館に家族で行った」などという家庭の子ほど学力が高いことが分かった。また、「フットボール」など基本的な学習態度も、家庭環境の影響が大きかった。中学ではこの傾向がさらに強まっていた。

中学校の数学では、得点分布が「二ユータイプ」を形成したことが注目される。八十点台を中心とした高得層(三十点

## 学力低下

ゆとり教育で落ちた「教える力」  
 「できる子」できない子の二極化が進んでいる

ご希望の方は、体験(¥1,000/回)受け付けします。電話予約の上お越しください。

受付: 10:00 ~ 21:00 ☎ 079-222-4522  
 Fax 079-222-4527

授業料	小・中学生	高校生 ~一般
週一回	6,000円/月	6,000円/月
週二回	10,000円/月	10,000円/月



## 高速リスニング実り

姫路市延末1丁目 33

☎ 079-222-4522 FAX 079-222-4527

<http://minorino.net>

